

第6学年国語科学習指導案

日時 平成20年11月21日(金) 5校時
児童 6年2組 男16名女17名計33名
指導者 中塚良久

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」(大牟田 稔)

「自分の考えを発信しよう」／「インターネットと学習」(光村図書 6年下)

2 単元について

(1) 指導事項について

主たる指導事項は、「C 読むこと」の「エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」である。また「B 書くこと」の「ウ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること」である。

(2) 教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、事実と意見を区別しながら筆者の考えをとらえ、それについて自分の考えをもつこと、さらに必要な材料を集めて文章にまとめ、発信することをねらいとして、大きく2つの教材からなっている。

第1教材「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって傷だらけになった原爆ドームが、平和を願う多くの人々の心によって、世界遺産となった経緯を述べた説明文である。文章構成は、大きく4つのまとまりからなり、全体が編年体で説明されていて、簡潔で分かりやすい構成になっている。世界平和を願う筆者の思いを読み取り、それをもとに自分の考えをもつという学習に適した教材である。

また、第2教材「自分の考えを発信しよう」／「インターネットと学習」は、「平和」というテーマに関わる多様な材料を集め、自分なりの考えをもち発信していく表現能力を高めることができる教材である。

(3) 児童について

① 学習意欲について

課題に対して意欲的に一人学びに取り組むことができる。しかし与えられた教材文を読むという意識が強く、自分なりの目的をもって教材文に主体的に関わろうとする児童は少ない。

② 読むことについて

「生き物はつながりの中に」では、文章構成や表現をもとにして要旨を読み取ることができるようになってきている。しかし、筆者の考えや筆者が用いている表現の工夫については、共感する場合が多く、客観的な視点で自分なりの考えをまとめることができる児童は少ない。

③ 読む活動について

音読については、学習場面の確認や事象と意見を区別し筆者の考えを読み取るために一斉読や黙読を学習の中に取り入れてきた。筆者の考えをとらえるための根拠となる文章を、黙読によって見つけることができるようになってきている。

④ 書く活動について

要旨をまとめたり要約したりする活動の中で、文章を抜き書きしたり、自分の考えを書きまとめたりする学習を行った。筆者の意図に沿って大切な言葉を落とさずに抜き書きすることができる。しかし、筋道を立てて自分の考えを書くことに苦手意識をもつ児童が多い。

(4) 指導について

① 学習意欲について

単元の導入で、イメージマップをもとに「平和」について考えたり、自分なりの要旨を書きまとめたりする活動を行い、主体的に教材文に関わりながら学習を進めるようにしたい。

② 読むことについて

筆者の考えを読み取るために、テキストを具体的な言葉に置き換える活動を行うことにより、筆者の考えの理解を確かなものにした。また読み取った内容や感想、自分なりの考えをまとめる活動を継続して行い、自分の考えを明確にしながら学習を進めるようにしたい。

③ 読む活動について

事象と意見を区別したり、筆者の考えを焦点化したりするために、一斉読や黙読を必要に応じて取り入れていきたい。

④ 書く活動について

筆者の考えや自分なりの考えを書く活動を毎時間位置付け、常に自分の考えを明確にしながら学習を進めるようにしたい。また教材文の表現の工夫の効果についてふれ、自分の意見文に生かせるようにしたい。さらに教師の提示した意見文のモデルの構成について考え、自分の考

えを伝えるための効果的な構成の工夫について、気付くことができるようにしたい。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・筆者の考えに対して自分なりの考えをもって読んだり、自分の考えを伝えるために必要な材料を集め、文章全体の構成の効果を考えながら書いたりしている。

(2) 読む能力

- ・書かれている内容について、事実と意見を区別しながら筆者の考えをとらえ、それに対して自分の考えをもちながら読むことができる。(読 エ)

(3) 書く能力

- ・自分の考えを明確に表現するため、効果的な文章の構成を考えることができる。(書 ウ)
- ・テーマについて調べたことをもとに、事実と意見を区別し、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように書くことができる。(書 エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・表現したり、理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣をもつことができる。(言ウ【ウ】)
- ・文章にはいろいろな構成があることを理解し、適切なものを選ぶことができる。(言オ【ア】)

4 指導計画及び評価規準 (「読むこと」7時間、「書くこと」8時間 計15時間)

次	時	学 習 内 容	評 価 規 準
一	1	・単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。	【読】リード文や題名をもとにしながら、単元のねらいについて理解し、見通しをもっている。(エ) 【言】新出漢字や語句の意味を理解している。(ウ【ウ】)
	2	・第1教材文を読み、要旨を考え、読解の視点を考える。 ・「平和」についての自分の考えをもつ。	【関】筆者の考えに対して自分なりの考えをもって読んでいる。 【読】全文を読み、自分なりの要旨をとらえる。 「平和」について、自分の考えを書いている。(エ)
二	3	・原爆ドームがたどった歴史を読み取る。	【読】物産陳列館から原爆ドームになるまでの経緯を読み取っている。(エ)
	4	・「原爆ドーム」の保存運動について読み取る。	【読】原爆ドームを保存するに至った経緯を、人々の願いと関係付けながら読み取っている。(エ)
	5	・「原爆ドーム」が世界遺産になるまでの経緯を読み取る。	【読】「原爆ドーム」が世界遺産に登録された理由、人々の平和への願いを読み取っている。(エ)
	6 本時	・筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめる。	【読】平和についての筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめている。(エ)
三	7	・「平和」についての自分の考えをまとめ、交流する。 ・筆者が用いている表現の工夫の意図について考える。	【読】筆者の考えをとらえ、「平和」についての自分の考えをもち、まとめている。(エ) 【言】筆者が用いている表現の工夫の意図を考え、まとめている。(オ【ア】)
	8	・第2教材文を読み、学習内容や方法を知る。	【書】「平和」を窓口にして、自分たちの未来に対する自分の考えを書いている。(エ)
四	9	・自分の考えの中心を書く。	【書】自分の考えの中心を進んで書いている。(エ)
	10	・「インターネットと学習」を読み、「情報の集め方」と「情報の発信の仕方」「人との交流の仕方」を学ぶ。	【書】必要な情報を収集するときの方法や表現するときの注意点について理解している。(ウ) 【言】目的や意図に応じて様々な表現様式があることを理解し適切なものを選んでいく。(オ【ア】)
	11	・必要な材料を集め、自分の考えの中心を見直す。	【書】自分の考えを伝えるために必要な具体的事例や資料を集め、要旨をまとめ直している。(エ)
五	12	・必要な材料を選び、意見文の構成を考える。	【書】必要な具体的事例や資料を取り入れ、読み手を意識して文章を構成することができる。(ウ)
	13	・構成をもとに意見文を書く。	【書】事実と意見を区別して、自分の考えが伝わるような意見文を書いている。(エ)
	14	・書き上げた意見文の見直しをして、清書する。	【書】読み手に自分の考えを伝えるために効果的な表現になっているかを見直している。(エ)
六	15	・意見交流会を行い、自分の考えを深める。	【書】友達の意見文を読み、観点に沿って感想やアドバイスを書いている。(エ)

5 本時の目標

(1) 目標

読む能力 (エ)

- ・平和についての筆者の考えを読み取り，自分の考えをまとめている。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援 (○主発問)
見 通 す 2 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">平和に対する筆者の考えを読み取ろう。</div>	・本時は，筆者の考えをまとめていく時間であることを確認し，見通しをもつことができるようにする。
深 め る 38 分	3 学習場면을音読する。 4 筆者の考えを読み取る。 ①筆者の考えが一番表れている段落を確認する。 ②選択した段落中で筆者の考えが強くこめられている一文を抜き書きし，疑問点を話し合う。 ③筆者の考えの理解を確かなものにするために，「平和のとりでを築く」を具体的な言葉に置き換える。 ④全体で交流する。 ⑤交流したことを生かして読み取ったことと筆者の考えに対する自分の考えを書きまとめる。 ⑥書きまとめたことを発表する。	【読む活動】 筆者の考えが一番表れている段落を考えながら読む。 ・文章構成や文末表現をもとにして考えればよいことを確認する。 【書く活動】 1 3段落内にある筆者の考えを焦点化するために抜き書きする。 ・文末表現や題名に着目すればよいことを確認し，1 3段落の最後の一文を抜き書きできるようにする。 ○「平和のとりでを築く」を他の言葉に置き換えてみましょう。 【書く活動】 「平和のとりでを築く」という抽象的な言葉を具体的な言葉に置き換える。 ・1 2段落の文章を中心に置き換えることが予想されるため，1 3段落やこれまでに読み取った内容を振り返りながら置き換えるように働きかける。 ・「平和のとりでを築く」とは，「核兵器は不必要だという思いや平和を守ろうとする強い意志を努力して作り上げる」ことであることを読み取ることができるようにする。 【書く活動】 読み取った内容と筆者の考えに対する自分の考えを，根拠を明確にして書く。 ・交流したことや板書をもとにして，筆者の考えとそれに対する自分の考えをまとめればよいことを確認する。 ・根拠を明確にしてまとめている児童の発表を聞き，友達のまとめのよさに気づくことができるようにする。
ま と め る 5 分	5 学習のまとめをする。 ①学習について振り返り，感想を書く。 ②次時の学習内容を確認する。	【書く活動】 学習の成果を振り返り，満足感をもち，次時の学習に意欲をもつことができるようにするために感想を書く。

(3) 具体の評価規準

観 点	十分に満足できる	満足できる	努力を要する児童への手立て
読む能力	平和についての筆者の考えが分かる言葉に着目し，これまでの学習内容をもとにして読み取り，自分の考えをまとめている。	平和についての筆者の考えが分かる言葉に着目して筆者の考えを読み取り，自分の考えをまとめることができている。	筆者の考えをまとめる際に悩んでいる子どもには，学習内容を振り返れば良いことを助言する。